

個人質問

市民の声を届け誰もが楽しく暮らせる  
豊かなまちづくりの実践！

林 正清子 議員



問 コロナ禍で行事等が中止されていますが、再開のめどと経済活動等復活・再生の見通しを伺います。

答 朝市は実施団体の朝市組合が、来場者の感染拡大防止対策など安全対策体制を検討した上で、再開の判断を行う予定です。

来年度の産業文化祭は、産業文化祭実行委員会が今後の感染状況を考慮し判断する予定です。

問 大網小学校遠距離通学児童送迎バスについて、市補助金の見直しについて、進捗は如何でしょうか。また、一定額はいか程を考えていますか。

答 現在は、利用者数が減少すると利用者負担が増加する仕組みです。利用者負担が一定となるよう見直し、令和3年度からの施行に向け、遠距離通学児童送迎バス運営委員会の運営状況の他、これまでの利用状況や今後の利用見通し、他の公共交通利用者との均衡などについて検討中です。利用者負担額は、小学校及び運営委員会の意見を伺いながら決定していきます。

義務教育の中での再度、平等性、保護者にかかる負担の軽減を加味し、十分な検討をお願い致します。

問 わが市における太陽光発電設置の認可と、市の関わりについて伺います。

他、事業実施にあたり配慮する事項や適切な維持管理を求めています。

問 太陽光発電設備の設置及び管理に関するガイドラインの役割の概要をお聞かせください。また、近隣住民が設置者側からの説明を受ける際の注意すべき確認事項などを、まとめていただきたい。

答 太陽光発電設備の設置及び管理に関するガイドラインは、出力20kW以上または、面積が600㎡以上の土地に自立する事業用太陽光発電設備を設置する事業者に対して、住民説明会の他、事業実施にあたり配慮する事項を定め、遵守するよう求めるものです。

住民が説明を受ける際の注意すべき確認事項については、これまで、事業者が近隣住民に説明を行う際の説明事項等の基準がなかったため、今後、検討していきます。

近隣に太陽光発電設備が建設されることになれば、誰もが不安に思うことでしょうか。設置者側からの説明を受ける際に、何を確認するかのガイドがあればその不安を少しでも和らげることが出来るでしょうか。

また、「農業」と「発電事業」を両立させ収入を安定化させる「ソーラーシェアリング」というものがあります。地域密着の分散型で農業が抱える耕作放棄地、後継者不足を解消する事も期待できます。「ソーラーシェアリング」の意味を広報などでも趣向を凝らして伝えて行けば住民感情を和らげる一つの手段となります。

※他に、◆新型コロナウイルス感染拡大防止対策について◆通学路の危険なブロック塀について◆情報掲示板設置の検討について質問しました。

個人質問

コロナ禍の中、高齢者の命を市は  
もっと考えるべきではないのか！

石渡 登志男 議員



今回、壇上で再び次のような言葉を言わせていただきました。

「桜前線が北上するこの季節、人々はこの可憐な花びらを見つめる。昔古文で習った花といえは、確か桜を表していた。永い眠りから一瞬に目覚め、そして人々を和ませ散っていく。その姿に、どこか人生のはかなさを重ね合わせ、私たちの心を魅了してきたのかもしれない。私が議員になったこの9年間で何人も職員が命が失われた。そう、自ら命を絶った。この悲劇はもう止めていかなければならない。そして定年はるか以前に退職する職員、あるいは心が病み休職せざるを得ない職員もいる。とにかく今の市役所が本当に働きやすい職場になっているのか、総点検していかなければならないはずだ。できればこれから先も同じ悲劇が続かない。市にとって、また住民にとつてかけがえのない人材という財産が一瞬にして失われて行くことに私は憤りを感じるのだ。それほどこれは異常なこと。亡くなられた方々が、何故か私の心に突き刺さる。何かを訴えているような気がするのだ。冒頭の桜と同じでは、あまりに悲しい。」

問 9年間における本市職員の自殺者数、休職者数、途中退職者数の各人数を教えてください。

答 自殺者数は3名、精神疾患による病気休暇の取得者数は43名であり、そのうち休職に至った方が19名、定年前に退職した職員は56名です。

市民のために職員がきちんと働ける、そんな職場の環境づくりが重要ではないのか。ひとつ言えることは、市の内部がこんな状況で本市がよくなるわけがない。人口減少、財政悪

化、それに伴う大幅な行政サービスの低下など、一事が万事ではないのか。こんな状況下に対して、若手職員は不安がっているのではないのか。市は一体何をやっているんだ。新規採用者も辞めているようだが、また有望な職員ほど精神疾患を患い自殺や退職せざるを得ない状況は何か違うのではないのか。皆様方が一生懸命になってこういったことが起きないようお願いします。

問 インフルエンザ予防接種だが、65才以上の高齢者に市は郵送にてお知らせしている。ただ、今回、郵送した高齢者と、郵送しなかった高齢者がいるようだが各何人いるのか。郵送しなかったその理由は何か。

答 対象者は1万5925人で、郵送した方は過去2年間に接種を受けた9千356人で、郵送しなかった方は6569人です。接種率の向上に一定の効果が見られたことから、郵送を限定しました。郵送しなかった方からの問合せや相談に対し10月以降千人以上の方に予診票をお渡ししました。

郵送しなかった方は6千569人、結構いる。市は人選別を行った。助成金も出る中、市の判断で一方的に郵送しないというのは少々乱暴すぎないか。受ける受けたいは本人の選択、でも事前に情報は提供すべきだ。市は高齢者の命よりカネを考えた。郵送代金をケチったということだ。今の日本や今の私たちの生活があるのも、特に70代80代以上の方々が一生懸命になってつくってくださったからこそだ。これは高齢者の命の問題ではないのか！だからこそ、こういった事についてはケチらず、次はしっかりと対応をお願いしたい。

化、それに伴う大幅な行政サービスの低下など、一事が万事ではないのか。こんな状況下に対して、若手職員は不安がっているのではないのか。市は一体何をやっているんだ。新規採用者も辞めているようだが、また有望な職員ほど精神疾患を患い自殺や退職せざるを得ない状況は何か違うのではないのか。皆様方が一生懸命になってこういったことが起きないようお願いします。



新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、  
基本的な感染症対策の2つの  
ポイントをもう一度確認しましょう！

感染症  
対策

POINT.1

帰宅時や調理の前後、  
食事前など、  
こまめに手を洗う！

POINT.2

くしゃみや咳が出るときに、  
ティッシュ等で口と鼻を覆ったり  
マスクを正しく着用する！

